

## 一般競争入札（総合評価落札方式）に関する質問及び回答（Q&A）

最終更新日 2026年5月19日  
独立行政法人情報処理推進機構

件名：IPA クラウドに係るランディングゾーン構築および運用業務（Microsoft Azure）

項番	資料名	頁番号	項目名	質問内容	回答	回答掲載日
1	Ⅲ.仕様書	p.25	5.1 ランディングゾーンの構築 (4)サブスクリプションおよびアカウント管理支援	<p>現在稼働中の Azure 環境または AWS 等からの移行予定を含め初期段階で想定すべき最低限必要なサブスクリプションの数やドメイン数はどれ程を見込むと望ましいかご教授願います。あわせて、組織構造との整合性の観点から、部署単位でサブスクリプションを分ける運用かサービス単位でタグを設定し、各部署のタグを用いて費用算出する運用のどちらが貴構にとって望ましいかご教授願います。</p>	<p>初期段階でのサブスクリプションの数やドメイン数については、仕様書に記載の内容およびランディングゾーンの要件整理の中で検討することを想定しております。また、サブスクリプションは部署単位ではなくサービス単位で分割し、タグを用いて費用を算出する方針が望ましいと考えておりますが、こちらについても要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等を基にご提案を記載いただけますようお願いいたします。</p>	2026年 5月15日

2	Ⅲ.仕様書	p.25	5.1 ランディングゾーンの構築 (7)セキュリティガードレールの作成とデプロイ	<p>本業務で作成するセキュリティガードレールやポリシーの変更履歴について、管理を行いテスト環境で検証してから業務利用する環境へ反映させるという運用のリリース管理 設計を行うため、サブスクリプションの数やドメインは検証環境と業務利用する本番環境をそれぞれ用意し管理運用することが必須となるか否かご教授願います。</p>	<p>こちらについても要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等を基にご提案を記載いただけますようお願いいたします。</p>	2026年 5月15日
3	Ⅲ.仕様書	p.25	5.1 ランディングゾーンの構築 (6)Azure Policy によるガードレールの実装	<p>Azure Policy による自動監査が想定されますが、Policy で設定をする基準について貴構独自のセキュリティチェックリスト等は存在するかご教授願います。仮に存在する場合で、かつ、当該セキュリティチェックリストの内容を Azure Policy のカスタム定義とすることが望ましい場合、事前にセキュリティチェックリスト等の情報をご提供いただけますと幸いです。</p>	<p>国家サイバー統括室が公開する「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群」に基づく情報セキュリティ関連規程がございますが、その中に Azure Policy に適用できるセキュリティチェックリストはございません。定義は要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等を基にご提案を記載いただけますようお願いいたします。</p>	2026年 5月15日

4	Ⅲ.仕様書	p.25	5.1 ランディングゾーンの構築 (7)セキュリティガードレールの作成とデプロイ	<p>現在稼働中の Azure 環境または AWS 等からの移行予定がされている Azure サブスクリプションに対しても本業務で作成するガードレールを一律に適用する計画がある場合、現行業務への影響調査は本業務の対象範囲外として問題ないかご教授願います。</p>	<p>現行業務への影響調査については、本業務の対象範囲外となります。一方、円滑な移行の観点から移行実施担当者への情報（設定内容、ポリシー、制限事項等）のご共有はお願いいたします。</p>	2026年 5月15日
5	Ⅲ.仕様書	p.21	<p>3.IPA クラウドの概要 3.1 機能 ⑥IPA クラウド用ネットワーク、⑦ IPA クラウド用セキュリティ管理環境</p>	<p>各サブスクリプションの接続性について、将来的に「Azure Virtual WAN」のようなマネージドな接続サービスの移行は現時点では視野に入れず、標準的な「Hub&amp;Spoke」構成を想定し構成するものとして問題ないかご教授願います。</p> <p>また、各サブスクリプションで共通して利用する共有サービス(DNS、ログ集約用 Storage 等)を Hub 側に集約する場合、貴構職員による Portal 経由での直接的な操作はどれ程を見込むと望ましいかご教授願います。</p>	<p>サブスクリプションの接続性については、現時点では、「Azure Virtual WAN」のようなマネージドな接続サービスの利用は想定しておりませんが、こちらについても要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等を基にご提案を記載いただけますようお願いいたします。</p>	2026年 5月15日
6	Ⅲ.仕様書	p.25	5.1 ランディングゾーンの構築	<p>テストについて、単体テストおよび結合テストのみを実施する前提と理解しておりますが、本認識で相違ございませんでしょうか。</p>	<p>p.25 に記載のとおり 5.1(5)、(6)、(7)についてテストを実施することとしておりますが、マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見等を基にご提案を記載いただけますようお願いいたします。また、内容については要件整理の中で検討することを想定しております。</p>	2026年 5月19日

7	Ⅲ.仕様書	p.25	5.1 ランディングゾーンの構築	RBAC ロールについては、組み込みロールのみを対象とし、カスタムロールは対象外とする前提で認識しておりますが、本認識で問題ございませんでしょうか。	RBAC についても要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等に基づきご提案を記載いただけますようお願いいたします。	2026年 5月19日
8	Ⅲ.仕様書	p.25	5.1 ランディングゾーンの構築	Azure Policy については、組み込みポリシーのみを対象とし、カスタムポリシーは対象外とする前提で認識しておりますが、本認識で問題ございませんでしょうか。	Azure Policy についても要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等に基づきご提案を記載いただけますようお願いいたします。	2026年 5月19日
9	Ⅲ.仕様書	p.25	5.1 ランディングゾーンの構築	セキュリティガードレールのテンプレート一式およびその説明書については、実際に適用したセキュリティガードレール (Azure Policy) の一覧および各ポリシーの説明を対象とする想定でよろしいでしょうか。認識に相違がないかご教示ください。	ご認識のとおり、実装した Azure Policy 等のガードレールに関する一覧および各ポリシーの内容、目的、設定値等の説明を含むものと想定しております。加えて、再現性を確保する観点から、設定内容をテンプレート化した形式でのご提供をお願いいたします。	2026年 5月19日

10	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	<p>本プロジェクトにおける「定期的な監査およびコンプライアンス確認」については、以下の内容を実施する認識でありますが、相違ございませんでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Defender for Cloud の検知状況の確認</li> <li>- Azure Policy の準拠状況（検知状況）の確認</li> <li>- ID統制の確認（ランディングゾーンで定義したルールに基づいたID作成・管理がされているかの確認）</li> <li>- コスト状況の確認</li> </ul>	<p>こちらについても要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等に基づいてご提案を記載いただけますようお願いいたします。</p>	2026年 5月19日
11	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	<p>運用手順書については、以下の内容を作成する想定でありますが、認識に齟齬がないかご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Azure Policy の適用および保守運用（ガードレールを含む）</li> <li>- Entra ID におけるユーザー作成、ユーザー管理、権限設定</li> <li>- コンプライアンス状況の確認手順 (Defender for Cloud/Azure Policy/ID管理状況/コスト)</li> </ul>	<p>こちらについても要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等に基づいてご提案を記載いただけますようお願いいたします。</p>	2026年 5月19日

12	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	<p>運用手順書のレビューについては、以下の前提で認識しておりますが、問題ございませんでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 貴社によるレビューは、1ドキュメントあたり最大2回まで</li> <li>- レビューに際し、貴社以外の第三者によるレビューおよびセキュリティ観点での脆弱性診断等は実施しない</li> </ul>	<p>運用手順書のレビュー回数には上限や下限は設けず、必要に応じて実施することを想定しております。レビューにあたっては、当機構職員に加え、当機構が必要と判断した第三者（外部有識者等）によるレビューを実施する場合がございます。</p>	2026年 5月19日
13	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	<p>サブスクリプションの移管作業については、現行サブスクリプションを開発・運営している事業者にて実施される想定で理解しておりますが、本認識で相違ございませんでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおり、サブスクリプションの移管作業自体は、既存事業者が実施する想定となります。一方、円滑な移行の観点から移行実施担当者への情報（設定内容、ポリシー、制限事項等）のご共有はお願いいたします。</p>	2026年 5月19日
14	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	<p>サブスクリプション移管支援の範囲については、サブスクリプション移管に関する一般的な技術的助言・情報提供のみを実施し、弊社による移管作業の実作業は実施しない前提で認識しておりますが、本認識で問題ございませんでしょうか。</p>	<p>移管作業の実作業は含みませんが、移管支援としては、一般的にとどまらず、ランディングゾーンの設計を念頭に置いた技術的助言・情報提供が必要となります。</p>	2026年 5月19日

15	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	サブスクリプション移管作業において、個別サブスクリプションに起因する固有の問題が発生した場合は、貴機構にてご対応いただく想定で認識しておりますが、本認識で相違ございませんでしょうか。	個別サブスクリプションに起因する課題については、原則としてIPA および既存事業者にて対応する想定となりますが、その問題がランディングゾーンの設計に関係するか等も含め、受注者は必要に応じて技術的な助言を行うことを想定しております。	2026年 5月19日
16	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	サブスクリプション移管支援の範囲として、新規サブスクリプションの契約および開通手続き等に関するQA対応はスコープ外とする理解しておりますが、本認識で問題ございませんでしょうか。	サブスクリプション移管支援の範囲として、新規サブスクリプションの契約・開通手続きに関するQA対応は、本業務の対象外と考えておりますが、ランディングゾーン内に新規サブスクリプションを配置するためのQA対応は含まれるものと認識しております。	2026年 5月19日
17	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	サブスクリプション移管支援においては、マルチテナント環境のサブスクリプション移管は対象外とし、単一テナントにおけるサブスクリプション移管のみを対象とする前提で認識しておりますが、本認識で相違ございませんでしょうか。	テナント構成については、単一テナントに限定せず、移管対象のサブスクリプションの移管方法に応じて適切に対応することを想定しております。	2026年 5月19日
18	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	サブスクリプション移管支援における対応時間の上限について、以下の条件を想定しておりますが、問題ございませんでしょうか。 - 上限時間：30時間/月 ※上限時間を超過する場合は、別途ご相談の	対応時間の上限については仕様書上の制約は設けておりません。本業務の目的を達成できる範囲で現実的かつ妥当なご提案をお願いいたします。 受注者が想定する上限時間を超過する	2026年 5月19日

				うえ追加費用を請求させていただく場合がございます。	場合であっても、追加費用のお支払いはできかねます。	
19	III.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	<p>Azure運用保守サポートの内容については、以下の認識に相違がないかご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Azure利用状況の月次報告（Entra ID/Azure管理グループ）</li> <li>- 監査およびコンプライアンス確認の月次報告（Defender for Cloud/Azure Policy/ID作成状況/コスト）</li> </ul> <p>※ID作成状況については、ランディングゾーンで定義したルールに基づき、適切にIDが作成・管理されているかの確認を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Entra IDユーザーの新規作成対応</li> <li>- Entra ID、Azure管理グループおよびAzureサブスクリプション環境に関する問い合わせ対応</li> <li>- 各種設計書および運用手順書の更新</li> </ul>	<p>p.26 の 5.2(1)に記載の内容をご確認いただき、マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等を基にご提案を記載いただけますようお願いいたします。詳細につきましては要件整理の中で検討することを想定しております。</p>	2026年 5月19日
20	III.仕様書	p.27	5.2 ランディングゾーンの運用	<p>Azure運用保守サポートにおける対応時間の上限について、以下の前提で問題ございませんでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 運用保守・月次報告：上限30時間/月</li> <li>- 各種設計書の更新対応：上限4時間/月</li> </ul> <p>※上限時間を超過した場合は、当該月内の対応を一時停止し、翌月以降に対応を再開する想定としております。</p> <p>※未消化の工数について、翌月への繰り越しは行わない前提としております。</p>	<p>対応時間の上限については仕様書上の制約は設けておりません。本業務の目的を達成できる範囲で現実的かつ妥当なご提案をお願いいたします。</p>	2026年 5月19日

				※プロジェクト期間内に完了しない対応事項が発生した場合には、貴社にて引き取り対応いただく想定としております。		
21	III.仕様書	p.26	5.3 ランディングゾーンの引継ぎ	<p>Azure環境の引き継ぎ対象については、以下の内容を引き継ぐ想定で認識しておりますが、相違ございませんでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 設計書</li> <li>- 運用手順書</li> </ul>	<p>設計書および運用手順書に加え、構築内容、設定情報、コード (IaC)、テスト仕様書、テスト結果報告書等、運用に必要な資料等一式を含むものと想定しております。</p>	2026年 5月19日
22	III.仕様書	p.26	5.3 ランディングゾーンの引継ぎ	<p>Azure環境引き継ぎの実施内容については、以下の前提で想定しておりますが、問題ございませんでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 引き継ぎ先事業者との引き継ぎ会を、計3回 (各回1時間) 実施</li> <li>- 上記引き継ぎ会の完了をもって、弊社の引き継ぎ対応は完了とする</li> <li>- 引き継ぎ完了後の問い合わせ対応は対象外とする</li> <li>- 引き継ぎにあたり、既存ドキュメントの修正は実施しない</li> <li>- 引き継ぎ時に作成するドキュメントは引き継ぎ報告書のみとし、それ以外の新規ドキュメント作成は実施しない</li> </ul>	<p>引継ぎの実施方法及び回数については、特段の指定は設けておりません。円滑かつ確実な引継ぎが実施されるよう、必要な回数及び内容について提案事業者様にてご提案いただくことを想定しております。なお、引継ぎにあたっては、後続事業者が本業務の内容を適切に理解し、運用を継続できる状態とすることを前提とし、必要に応じて資料の補足・更新等の対応を含め実施するものとします。</p>	2026年 5月19日

23	Ⅲ.仕様書	p.26	5.2 ランディングゾーンの運用	<p>仕様書において、リソース作成および管理については Infrastructure as Code (IaC) での実施が望ましい旨の記載がございますが、以下の作業についてIaCにより実施する想定で認識しております。本認識で相違ございませんでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- Azure Policy の適用</li> <li>- ユーザー作成および権限設定</li> </ul> <p>また、上記以外にIaCによる実施を想定されている作業がございましたら、ご教示いただけますでしょうか。</p>	<p>こちらについても要件整理の中で検討することを想定しております。マイクロソフト社のベストプラクティス等や提案事業者様のご知見や推奨構成等に基づきご提案を記載いただけますようお願いいたします。</p>	2026年 5月19日
24	Ⅲ.仕様書	p.27	6.3 ランディングゾーンの運用およびサポートに関する要件	<p>本業務における対応時間について、土日祝日を含めた対応が求められるものではなく、原則として平日9時30分から18時15分までの時間帯における対応を想定している認識でおります。仕様書等に「24時間365日」の記載がございますが、当該記載はメール等での問い合わせの受付を指すものであり、実作業の対応は平日9時30分から18時15分までの時間帯に限定される想定で認識しておりますが、本認識で相違ございませんでしょうか。</p>	<p>ご認識のとおり、仕様書の「24時間365日」は、問い合わせ受付を示しております。実作業は、原則として平日9時30分から18時15分の時間帯での実施を想定しております。</p>	2026年 5月19日